



Piamate Fine アプリ マニュアル
Android™ 版

2025年 3 月 10 日
Version 1.00
ニッシンエレクトロ株式会社

接続ガイド編

目次

Bluetooth の設定.....	2
アプリの権限.....	6
ピアメイト本体との接続.....	8
ピアメイト本体との接続解除.....	10

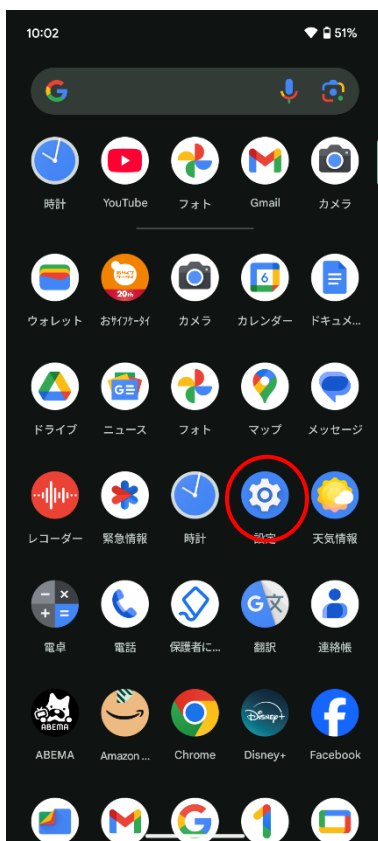
Bluetooth の設定

Android デバイスとピアメイト本体の接続は、Bluetooth(BLE-MIDI)を使用します。
アプリを起動する前に、Android デバイスの Bluetooth 設定をオンにしてください。
ここでは、Android 15 を搭載した Pixel シリーズでの設定例を説明します。

(1) 設定機能からの Bluetooth 設定

- ①アプリ一覧から「設定」をタップします。
- ②設定一覧から「接続設定」をタップします。
- ③接続設定から「接続の詳細設定」をタップします

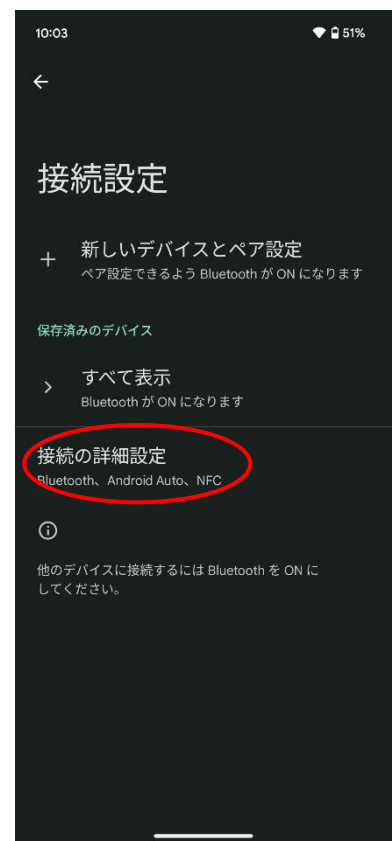
ステップ①



ステップ②



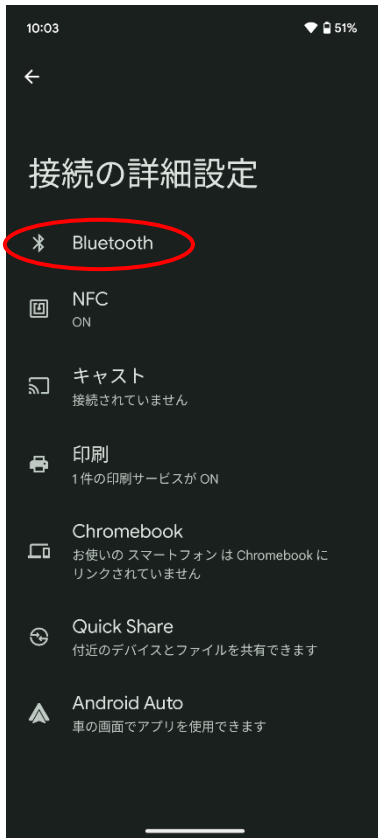
ステップ③



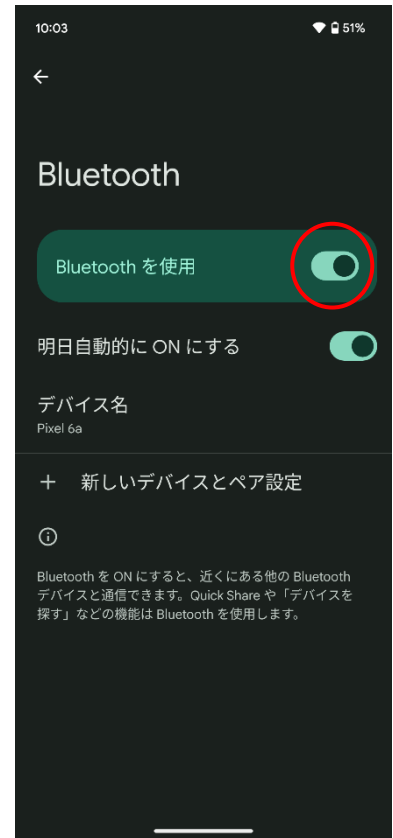
④詳細設定から「Bluetooth」をタップします。

⑤「Bluetooth を使用」をオンにします。

ステップ④



ステップ⑤



ピアメイト本体は、Bluetooth のペアリングに対応していませんので、「新しいデバイスとペア設定」の操作は不要です。

(2) クイック設定からの Bluetooth 設定

- ①画面上部から下にスワイプし、クイック設定の「Bluetooth」をタップします。
- ②「Bluetooth を使用」をタップします。

ステップ①



ステップ②



(3) Bluetooth 設定がオフ時の接続

Bluetooth 設定がオフの状態でも、ピアメイト本体と接続しようとした場合、次のメッセージが表示されます。この時、「許可」をタップすると、Bluetooth 設定が自動的にオンになり、接続画面を表示します。「許可しない」をタップした場合、接続画面は表示されません。

ステップ①



ステップ②



ステップ③



このように、Bluetooth 設定がオフの状態でも、接続画面を表示するタイミングで、Bluetooth 設定をオンにすることもできます。

アプリの権限

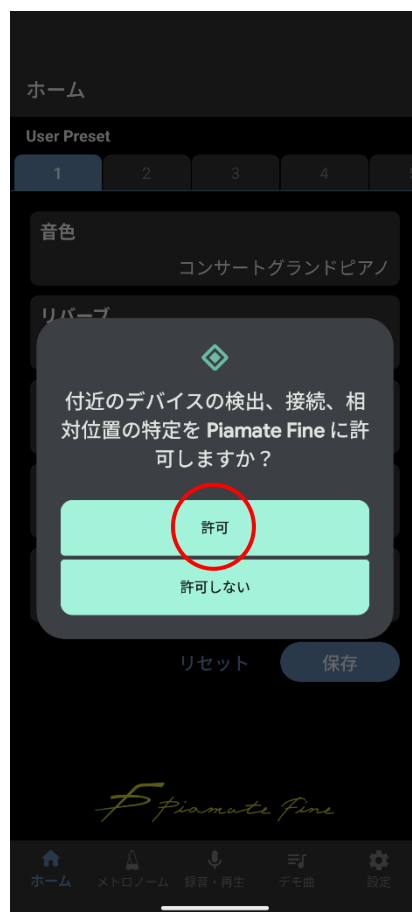
ピアメイト本体との接続には Bluetooth を使用しますが、Android では、アプリに対して権限を設定する必要があります。

Android OS のバージョンにより権限の内容が異なりますので、バージョン毎に説明します。

(1) Android 12 以上のデバイス

Android 12 以上のデバイスでは、付近のデバイスの権限が必要です。付近のデバイスの権限がない場合、Bluetooth へのアクセスが拒否され、ピアメイト本体と接続することができませんので、付近のデバイスの権限を与えて下さい。

アプリを起動した際、次のようなメッセージを表示しますので、「許可」をタップして下さい。



(2) Android 11 以下のデバイス

Android 11 以下のデバイスでは、位置情報の権限が必要です。位置情報の権限がない場合、Bluetooth へのアクセスが拒否され、ピアメイト本体と接続することができませんので、位置情報の権限を与えて下さい。

アプリを起動した際、次のようなメッセージを表示しますので、「許可」をタップして下さい。

なお、ピアメイトアプリは位置情報を取得することは一切ありません。



ピアメイト本体との接続

ピアメイト本体と接続するには、各画面の右上にあるBluetoothアイコンをタップし、接続画面を開きます。

- ①Bluetooth アイコンをタップします。
- ②接続画面のリストから「Piamate Fine」をタップします。

ステップ①



ステップ②



ステップ②の後、ピアメイト本体との接続が始まり、次のように画面表示が変化します。

③接続画面に「接続しています...」のメッセージが表示されます。

④接続画面に「接続済み」のメッセージが表示されます。

⑤接続画面が消えて、Bluetooth アイコンの色が青色(接続中を示す)に変わります。

ステップ③



ステップ④



ステップ⑤



ピアメイト本体との接続解除

ピアメイト本体との接続を解除するには、各画面の右上にあるBluetoothアイコンをタップし、接続画面を開きます。

- ①Bluetooth アイコンをタップします。
- ②接続画面のリストから「Piamate Fine(接続済み)」をタップします。
- ③「(接続済み)」の表示が消えます。

ステップ①



ステップ②



ステップ③



ホーム編

目次

ホーム画面.....	12
音色の設定.....	14
リバーブの設定.....	15
エフェクトの設定.....	16
4 バンドイコライザーの設定.....	17
トランスポーズの設定.....	18
ユーザープリセットの切り替え.....	19
ユーザープリセットの保存.....	20
ユーザープリセットのリセット.....	21

ホーム画面

アプリの起動直後、または画面下部のホームタブをタップするとホーム画面を表示します。
ホーム画面の表示内容は以下の通りです。



①ピアメイト接続ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体との接続画面を表示します。また、このアイコンの色は、ピアメイト本体との接続状態で変化します(青色:接続中、白色:未接続)。

②更新ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体から最新の設定情報を取得します。

③ユーザープリセット

ユーザープリセットの状態を表示します。青色になっているタブが現在選択中のバンクです。

また、各タブをタップすると、選択されたユーザープリセットに切り替わり、音色やリバーブ等の設定が一斉に替わります。

④音色設定

音色設定で設定されている音色名を表示します。また、この項目をタップすると、音色設定の画面を表示します。

⑤リバーブ設定

リバーブ設定の設定状態(オフ、ルーム、ホール)を表示します。また、この項目をタップすると、リバーブ設定の画面を表示します。

⑥エフェクト設定

エフェクト設定の設定状態(オフ、コーラス、ロータリー、ディレイ)を表示します。また、この項目をタップすると、リバーブ設定の画面を表示します。

⑦イコライザー設定

イコライザー設定の設定状態(オフ、オン)を表示します。また、この項目をタップすると、イコライザー設定の画面を表示します。

⑧トランスポーズ設定

トランスポーズ設定の設定状態(オフ、-24～+24)を表示します。また、この項目をタップすると、トランスポーズの設定画面を表示します。

⑨ユーザープリセットリセットボタン

このボタンをタップすると、ユーザープリセットのリセット画面を表示します。

⑩ユーザープリセット保存ボタン

このボタンをタップすると、ユーザープリセットの保存画面を表示します。

音色の設定

ホーム画面の音色の項目をタップすると、音色の設定画面を表示します。

〔音色の設定画面〕



128 種類の音色名のリストから音色を選択します。

「音色名のリスト」を上下にスワイプすると、リストをスクロールします。音色名をタップすると、その音色が選択されます。

「固定ベロシティスイッチ」をオンに設定すると、鍵盤へのタッチの強弱にかかわらず、一定の音量で出力します。好みの音量になるよう「固定ベロシティレベル」を調整して下さい。

リバーブの設定

ホーム画面のリバーブの項目をタップすると、リバーブの設定画面を表示します。

[リバーブの設定画面]



リバーブを設定するには、「リバーブスイッチ」をオンにします。

「リバーブタイプ」から、ルーム・ホールのいずれかを選択し、「リバーブレベル」を設定して下さい。

「リセット」をタップすると、リバーブ設定をリセットします。

エフェクトの設定

ホーム画面のエフェクトの項目をタップすると、エフェクトの設定画面を表示します。

〔エフェクトの設定画面〕



エフェクトを設定するには、「エフェクトスイッチ」をオンにします。

「エフェクトタイプ」から、コーラス・ロータリー(ロータリースピーカーの略)・ディレイのいずれかを選択し、「エフェクトレベル」を設定して下さい(ロータリーにはレベルの設定はありません)。

「リセット」をタップすると、エフェクト設定をリセットします。

4 バンドイコライザーの設定

ホーム画面の 4 バンドイコライザーの項目をタップすると、4 バンドイコライザーの設定画面を表示します。

[4 バンドイコライザーの設定画面]



4 バンドイコライザーを設定するには、「イコライザースイッチ」をオンにします。

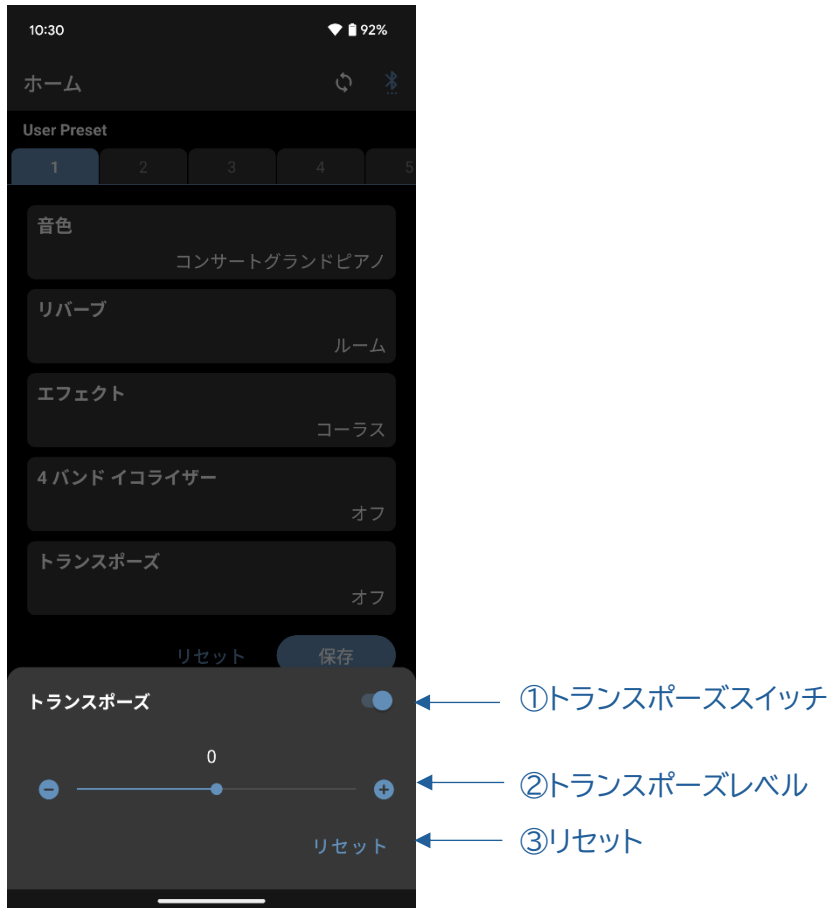
4 バンド分のレベルを設定しますが、「P1・P2・P3」のいずれかをタップすると、それぞれに用意されたプリセット値を自動的に設定します。「P1・P2・P3」のいずれかのプリセットを選んだ状態からレベルを操作すると、自動的に「USER」に変更されます。

「FLAT」をタップすると、全てのバンドを 0 dB のフラットにリセットします。

トランスポーズの設定

ホーム画面のトランスポーズの項目をタップすると、トランスポーズの設定画面を表示します。

[トランスポーズの設定画面]



トランスポーズを設定するには、「トランスポーズスイッチ」をオンにします。

「トランスポーズレベル」は、半音ステップで最大 ± 2 オクターブの範囲で設定します。

「リセット」をタップすると、トランスポーズの設定をリセットします。

ユーザープリセットの切り替え

各種設定を保存しているユーザープリセットを切り替えることができます。

ホーム画面上部のユーザープリセット(User Preset)のタブをタップすると、タップしたバンクの設定内容に切り替わり、演奏音が変わります。

①「バンク4」をタップ。

②バンク4の設定内容に変わる。



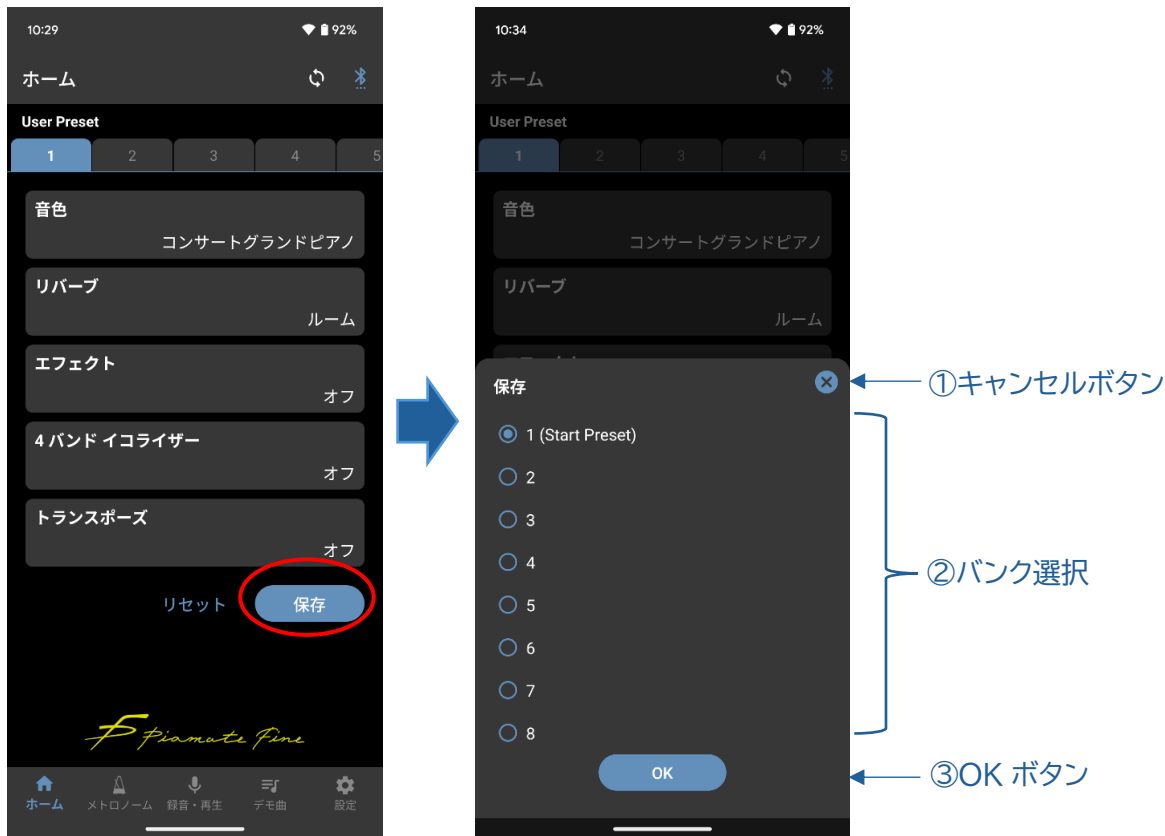
ユーザープリセットの隠れているタブ(バンク)にアクセスするには、このタブを左右にスワイプします。

ユーザープリセットの保存

音色やリバーブ等の各種設定をユーザープリセットとして保存することができます。
ホーム画面の[保存]ボタンをタップすると、ユーザープリセットの保存画面を表示します。

①[保存]ボタンをタップ。

②ユーザープリセット保存画面を表示。



ユーザープリセットの保存画面を開いた際、保存先のバンクは現在設定中のバンクが選択されていますので、[OK]ボタンをタップすると、設定中のバンクに保存します。
[OK]ボタンをタップする前に、設定中とは異なるバンクをタップすると、別のバンクへ保存することができます(保存画面を閉じると、ホーム画面のバンク表示が保存した別のバンクに変わります)。
[キャンセル]ボタンをタップすると、ユーザープリセットの保存をキャンセルします。

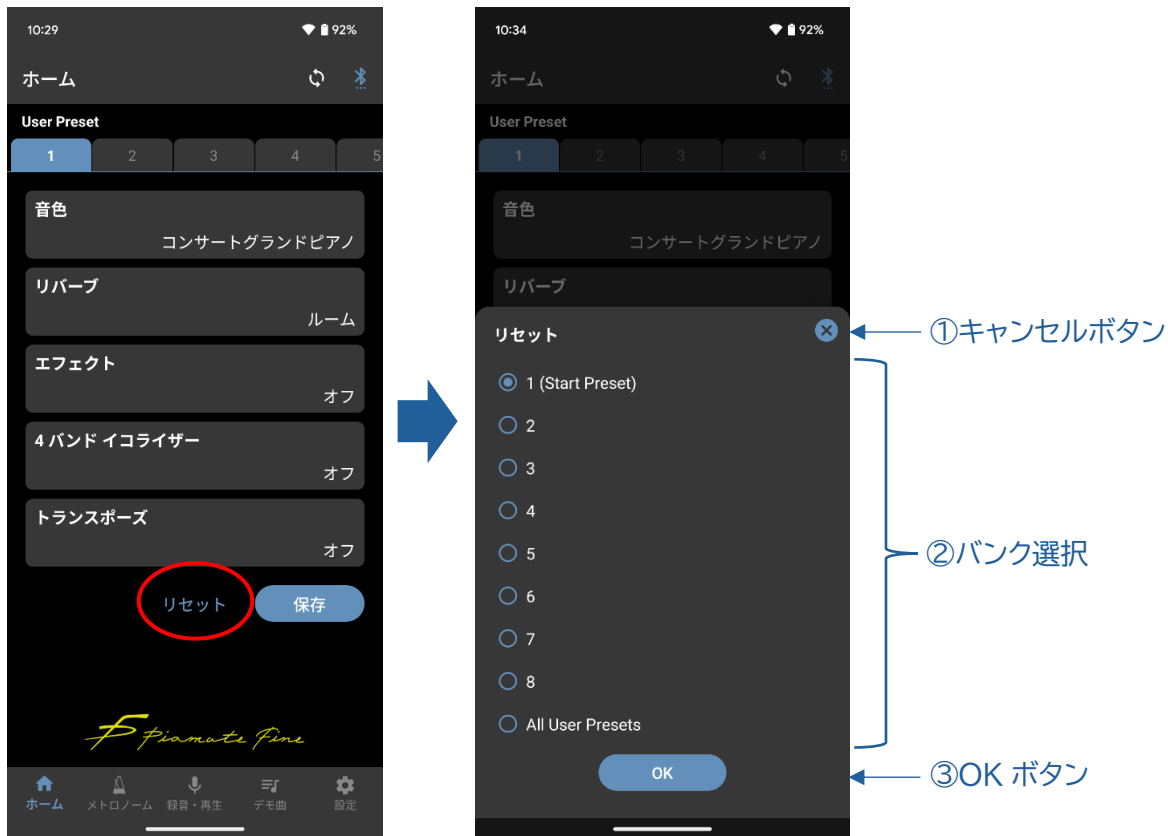
ユーザープリセットのリセット

各種設定内容を保存しているユーザープリセットのリセットすることができます。

ホーム画面の[リセット]ボタンをタップすると、ユーザープリセットのリセット画面を表示します。

①[リセット]ボタンをタップ。

②ユーザープリセットリセット画面を表示。



ユーザープリセットのリセット画面を開いた際、リセットのバンクは現在設定中のバンクが選択されていますので、[OK]ボタンをタップすると、設定中のバンクをリセットします。

[OK]ボタンをタップする前に、設定中とは異なるバンクをタップすると、別のバンクをリセットすることができます。また、「All User Preset」をタップすると、全てのバンクをリセットします。

[キャンセル]ボタンをタップすると、ユーザープリセットの保存をキャンセルします。

メトロノーム編

目次

メトロノーム画面	23
----------------	----

メトロノーム画面

画面下部のメトロノームタブをタップすると、メトロノーム画面を表示します。
メトロノーム画面の表示内容は以下の通りです。



①ピアメイト接続ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体との接続画面を表示します。また、このアイコンの色は、ピアメイト本体との接続状態で変化します(青色:接続中、白色:未接続)。

②拍子

拍子を設定します。拍子の設定範囲は、[なし、2、3、4、5、6、8]となっており、青色になっているボタンが現在選択中の拍子です。全ての拍子が画面に表示されていない場合、拍子ボタンを左右にスワイプすると、隠れていた拍子が表示されます。

③テンポ

テンポを設定します。テンポの調整範囲は、30～250 となっており、スライダーを左右にスワイプし、テンポを調整します。また、+ ボタン、- ボタンのタップにより、1 ステップ間隔で調整することもできます。

なお、メトロノームの再生中は、テンポの値が点滅します。

④テンポリセットボタン

このボタンをタップすると、テンポを 120 にリセットします。

⑤再生ボタン

このボタンをタップすると、メトロノームの再生を始めます。再生が始まると、このボタンの表示が停止ボタン(■ボタン)の表示に変わり、停止ボタンをタップすると、メトロノームの再生を停止します。

⑥アクセント／クリック音量

アクセント／クリックの音量を調整します。Accentスライダーでアクセントの音量、Clickスライダーでクリックの音量を調整しますが、Link スイッチがオンの場合、このスライダーは連動してスライドします。個別に音量を調整したい場合、Linkスイッチをオフにして、それぞれのスライダーを調整して下さい。

録音・再生編

目次

録音・再生画面	26
演奏を録音する	28
録音したデータを再生する	29
バンクメニュー	30
録音データの共有	39

録音・再生画面

画面下部の録音・再生タブをタップすると、録音・再生画面を表示します。

録音・再生画面の表示内容は以下の通りです。



①ピアメイト接続ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体との接続画面を表示します。また、このアイコンの色は、ピアメイト本体との接続状態で変化します(青色:接続中、白色:未接続)。

②共有ボタン

このボタンをタップすると、Android デバイス上の録音データの共有画面を表示します。

③録音バンクの表示

録音バンクの状態を表示します。

録音バンクは 20 バンクあり、各バンク毎(1 行毎)に以下の内容を表示します。

・バンク番号

1 から 20 の番号を表示しますが、選択中のバンクは再生ボタンのマークを表示します。

再生中は再生マークが点滅しますが、録音中は録音マークの点滅に変わります。

・バンク名

バンク名を表示します。バンクメニューでタイトル編集すると、そのタイトル名を表示します。

・バンクメニュー(3 点リーダー)

このボタンをタップするとバンクに関するメニューを表示します。

④録音ボタン

このボタンをタップすると、録音を開始します。

⑤再生ボタン

このボタンをタップすると、再生を開始します。

⑥停止ボタン

このボタンをタップすると、録音・再生を停止します。-

⑦全曲リピートボタン

このボタンをタップすると、全バンク(録音データが存在するバンクのみ)を順番に連続再生します。

⑧1 曲リピートボタン

このボタンをタップすると、選択中のバンクのみを繰り返し再生します。

⑨再生スピードの調整

このスライダーをスワイプすると、再生時のスピードを変更します。

0.5 倍から 2.0 倍の範囲で調整します。

⑩再生音量の調整

このスライダーをスワイプすると、再生時の音量を調整します。

5 から 100 の範囲で調整します。

演奏を録音する

演奏を録音するには、以下の手順で行います。

①録音先のバンクをタップします(この例では、バンク 5 を選択)。

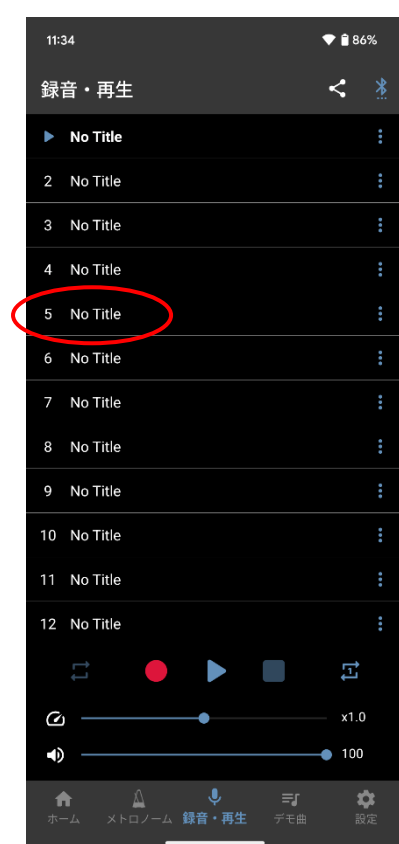
②[録音]ボタンをタップします。

この時、ロックされているバンクを選択していると、録音は開始されません。

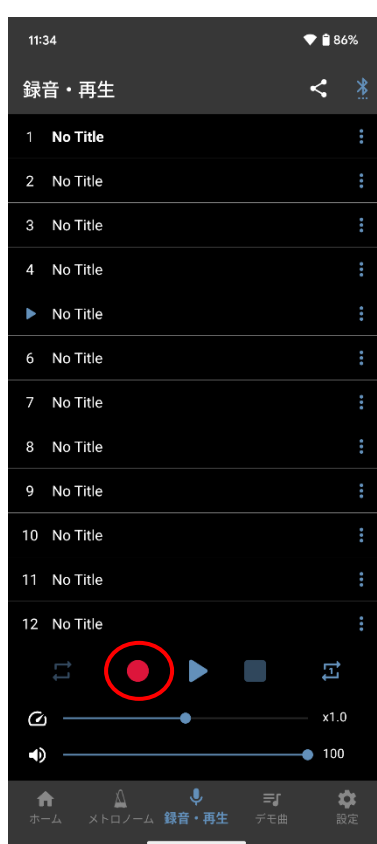
録音中に別のバンクをタップしてもバンクは変わりません。

③演奏終了後、[停止]ボタンをタップします。

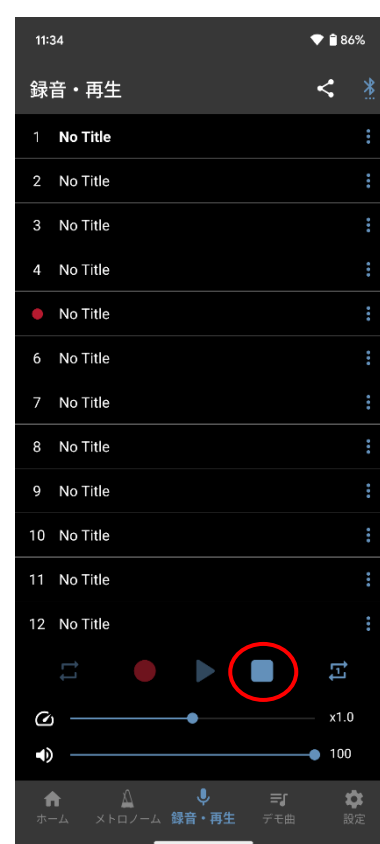
ステップ①



ステップ②



ステップ③



録音したデータを再生する

録音したデータを再生するには、以下の手順で行います。

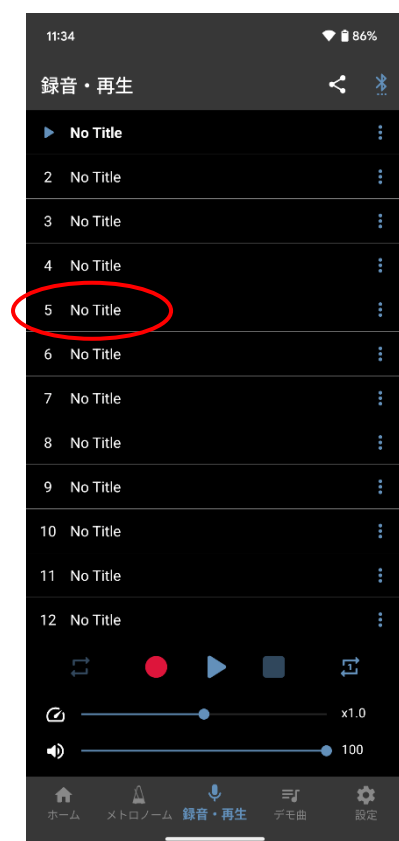
①再生したいバンクをタップします(この例では、バンク 5 を選択)。

②[再生]ボタンをタップします。

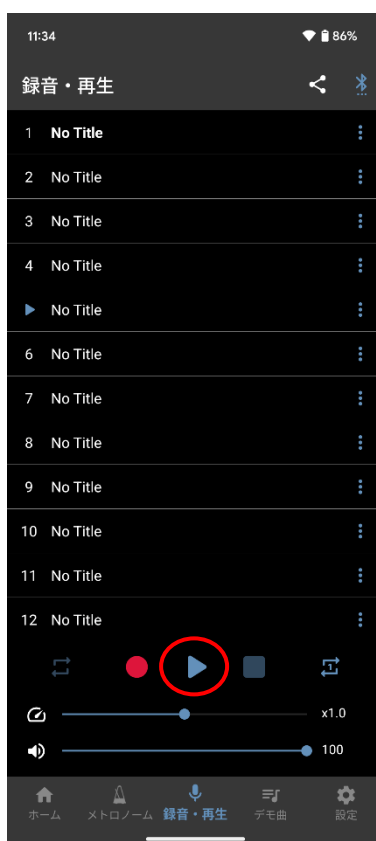
③[停止]ボタンをタップします。

リピート設定がオフの場合、選択中のバンクを最後まで再生すると、自動で停止します。

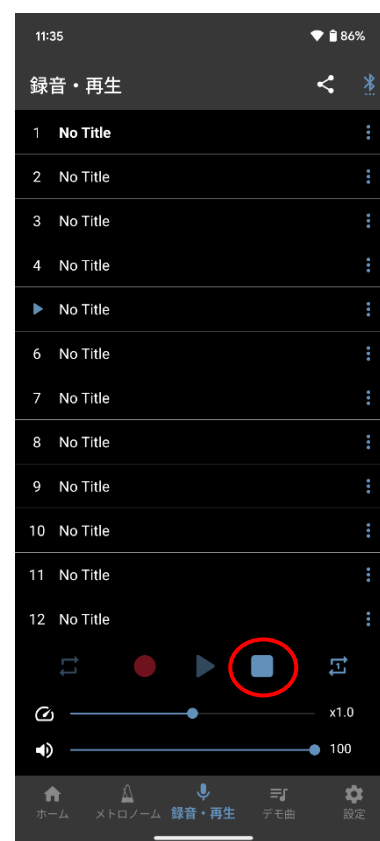
ステップ①



ステップ②



ステップ③



また、再生中に以下の操作が可能です。

- ・再生中と異なるバンクをタップすると、そのバンクの再生に変わります。
- ・全曲リピートボタン
- ・1 曲リピートボタン
- ・再生スピードの調整
- ・再生音量の調整

各ボタンの説明は、[録音・再生画面](#)の説明を参照して下さい。

バンクメニュー

バンク毎に操作するメニューについて説明します。

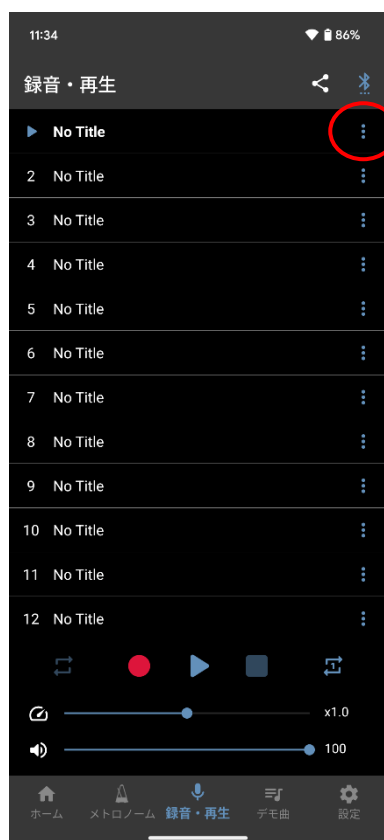
(1) ロック

このバンクの録音データの上書きや削除ができないよう保護します。

ロックするには、以下の手順で行います。

- ①ロックしたいバンクのメニューボタンをタップします(この例ではバンク 1 を選択)。
- ②ロックのチェックボックスをタップします。
- ③バンクメニューが消え、このバンクに鍵マークのアイコンが表示されます。

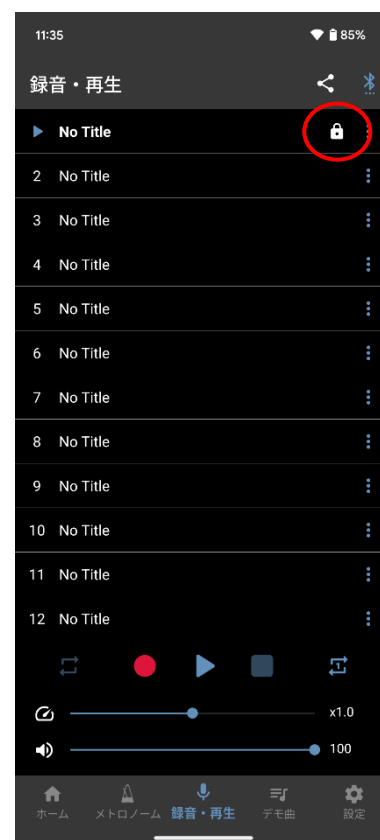
ステップ①



ステップ②



ステップ③



ロックを解除する場合、バンクメニューのロックのチェックボックスがチェックされた表示になっていますので、チェックボックスを再度タップします。

(2) タイトル編集

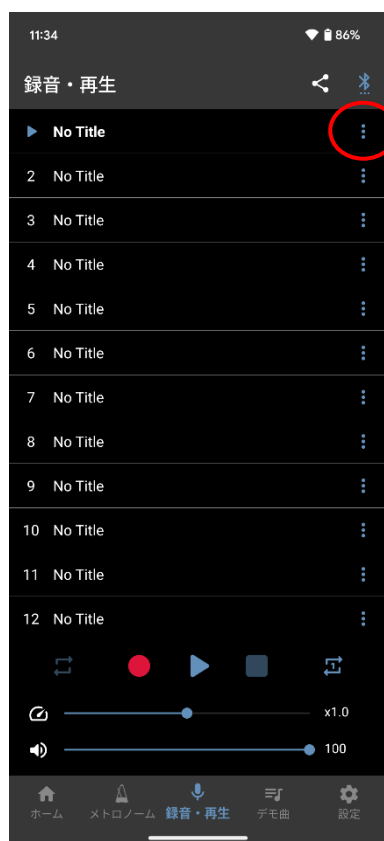
このバンクのタイトルを編集します。

録音後に演奏した曲名を入力しておく、どのバンクにどんな曲が保存されているか分かりやすくなります。

タイトルを編集するには、以下の手順で行います。

- ①タイトルを編集したいバンクのバンクメニューボタンをタップします(この例ではバンク 1 を選択)。
- ②バンクメニューから「タイトル編集」をタップします。

ステップ①



ステップ②



③タイトルを入力するダイアログが表示されます。

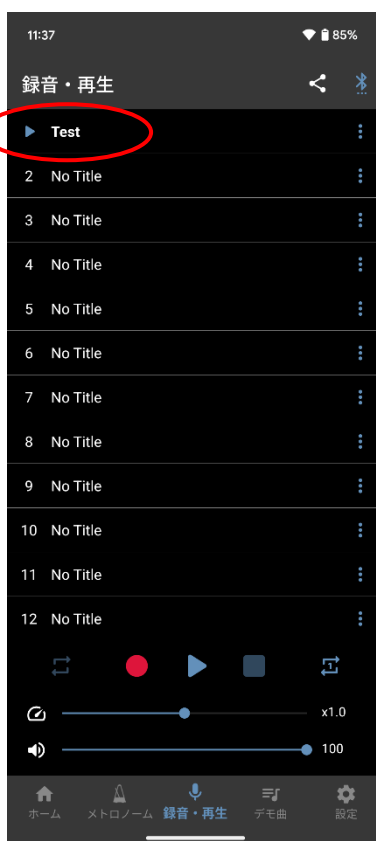
タイトルを入力した後、[OK]ボタンをタップします。

④ダイアログが消えて、バンクのタイトルに編集した名称が表示されます。

ステップ③



ステップ④



(3) ダウンロード

このバンクに保存されている録音データを Android デバイスに転送します。

ピアメイト本体に録音可能なバンク数は 20 バンクですが、録音データを Android デバイスに転送することで、より多くの録音データを Android デバイスで管理することができます。

録音データを Android デバイスへ転送するには、以下の手順で行います。

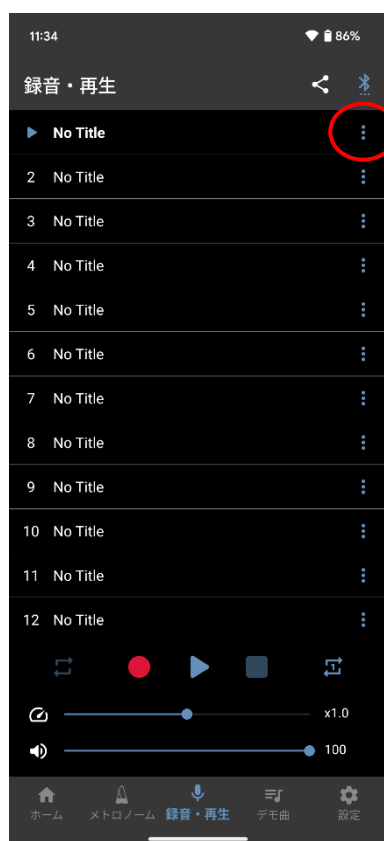
①ダウンロードしたいバンクのメニューボタンをタップします(この例ではバンク 1 を選択)。

②バンクメニューから「ダウンロード」をタップします。

③ファイル名を入力するダイアログが表示されます。

ファイル名を入力した後、[OK]ボタンをタップします。

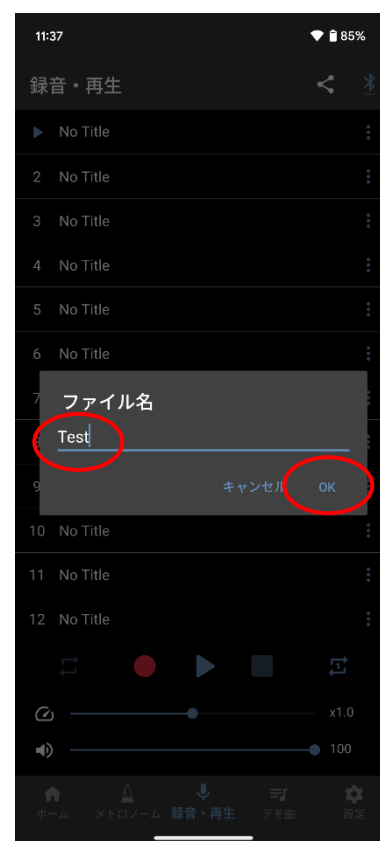
ステップ①



ステップ②



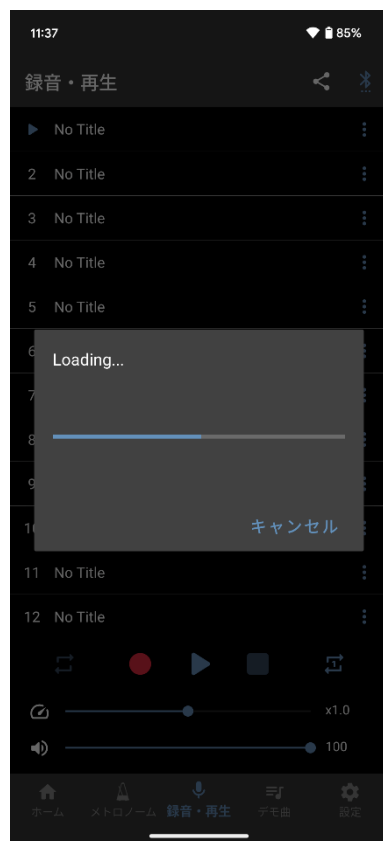
ステップ③



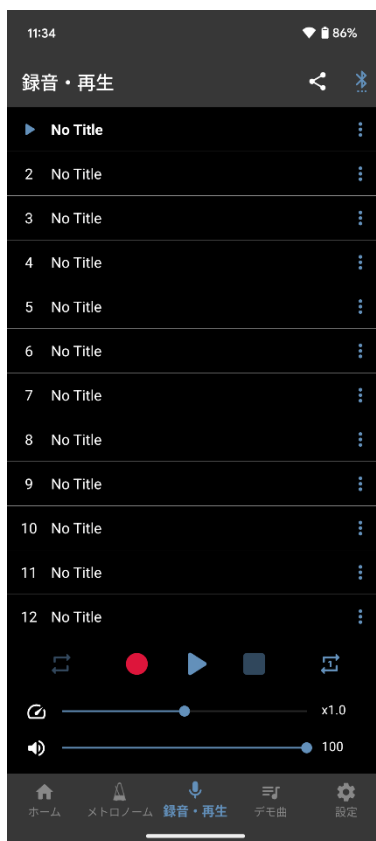
④ダウンロードが始まり、ダウンロードの進行状況をダイアログに表示します。

⑤ダウンロードが完了すると、ダイアログが消えます。

ステップ④



ステップ⑤



(4) アップロード

Android デバイスの録音データをこのバンクに転送します。

Android デバイスで管理されている録音データを、ピアメイト本体に戻すことができます。

録音データをピアメイト本体に転送するには、以下の手順で行います。

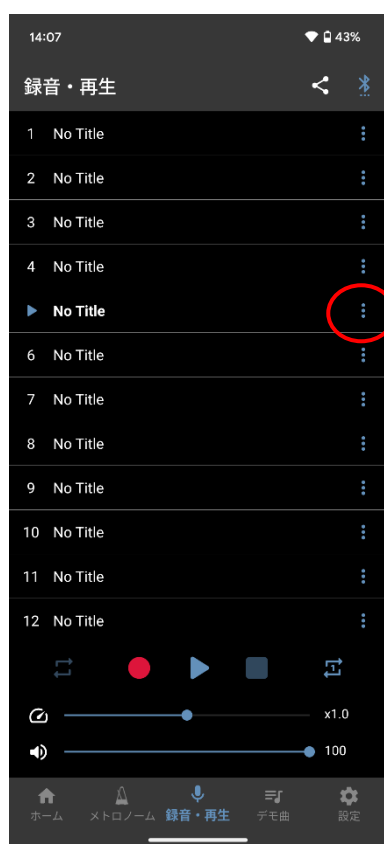
①アップロードしたいバンクのメニューボタンをタップします(この例では、バンク 5 を選択)。

②バンクメニューから「アップロード」をタップします。

③録音データ(ファイル名)のリストが表示されます。

アップロードしたいファイルを選択し、[OK]ボタンをタップします。

ステップ①



ステップ②



ステップ③

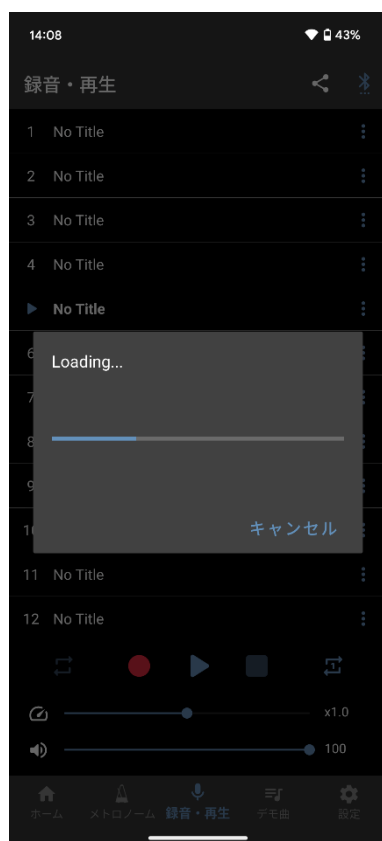


④アップロードが始まり、アップロードの進行状況をダイアログに表示します。

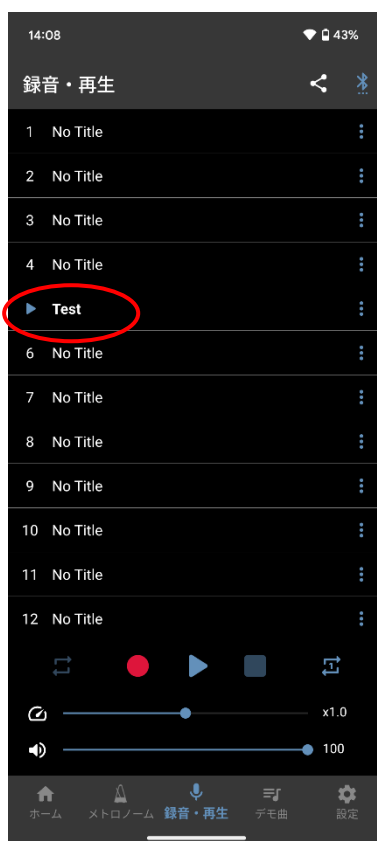
⑤アップロードが完了すると、ダイアログが消えます。

また、バンクのタイトル表示がアップロードしたファイル名の表示に変わります。

ステップ④



ステップ⑤



(5) 削除

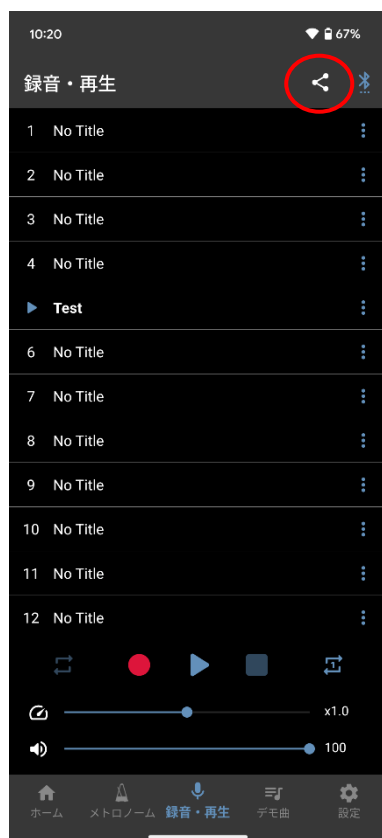
このバンクの録音データを削除します。

削除するには、以下の手順で行います。

①削除したいバンクのメニューボタンをタップします。

②バンクメニューから「削除」をタップします。

ステップ①



ステップ②

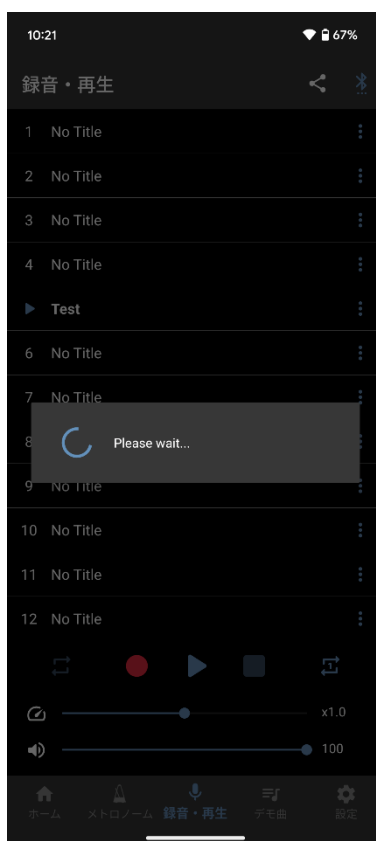


- ③削除を確認するダイアログが表示されますので、「はい」をタップします。
- ④削除が始まり、「Please wait...」のダイアログが表示されます。
- ⑤削除が完了すると、ダイアログが消えます。

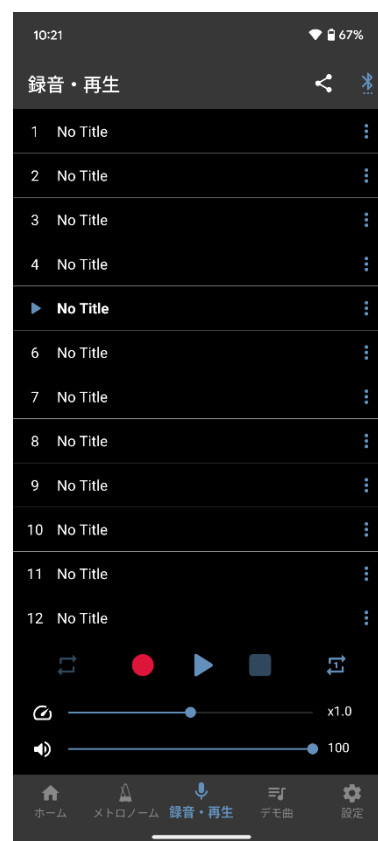
ステップ③



ステップ④



ステップ⑤



録音データの共有

Android デバイス上の録音データを他のアプリと共有することができます。

録音データのファイルは、拡張子が「mid」となっており、この形式のファイルを扱えるアプリと共有することができます。

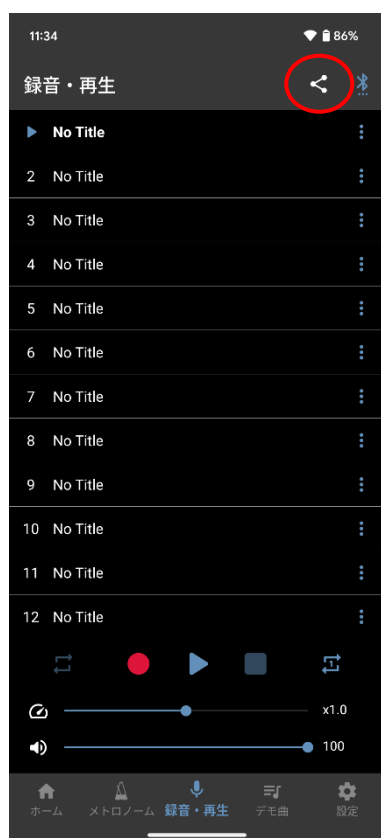
録音データを共有するには、以下の手順で行います。

①共有ボタンをタップします。

②録音データ(ファイル名)のリストが表示されます。

共有したい録音データを選択し、[OK]ボタンをタップします。

ステップ①



ステップ②



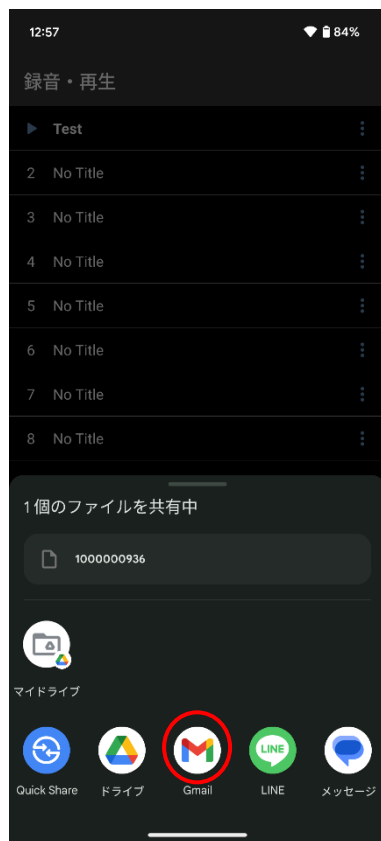
③共有可能なアプリのリストが表示されます。

リストから共有したいアプリをタップします(この例では、Gmail を選択)。

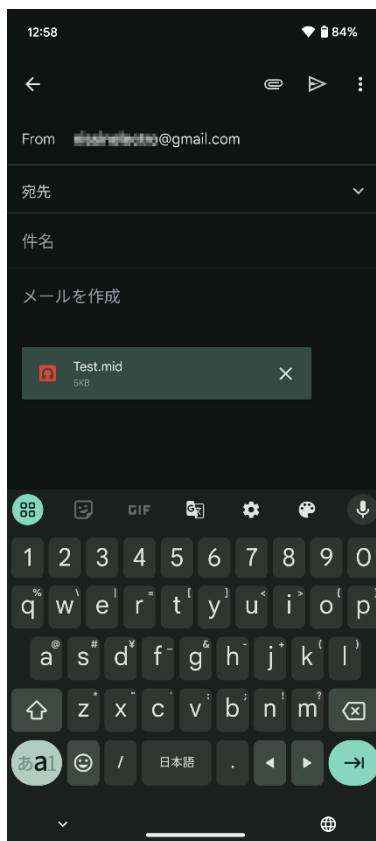
④共有先のアプリが起動しますので、共有先のアプリを操作します。

Gmail の場合、録音データが添付されますので、宛先や件名等を入力し、送信します。

ステップ③



ステップ④



デモ曲編

目次

デモ曲画面	42
-------------	----

デモ曲画面

画面下部のデモ曲タブをタップすると、デモ曲画面を表示します。

デモ曲画面の表示内容は以下の通りです。

[デモ曲画面]



①ピアメイト接続ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体との接続画面を表示します。また、このアイコンの色は、ピアメイト本体との接続状態で変化します(青色:接続中、白色:未接続)。

②デモ曲リスト

デモ曲のリストを表示します。

現在選択中のデモ曲の番号は、再生マークのアイコンが表示され、再生中の場合、点滅します。また、再生中とは別のタイトルをタップすると、その曲の再生に変わります。

③再生ボタン

このボタンをタップすると、デモ曲の再生を始めます。再生が始まると、このボタンの表示が停止ボタン(■ボタン)の表示に変わり、停止ボタンをタップすると、デモ曲の再生を停止します。

④前曲ボタン

このボタンをタップすると、リストの前の曲に変更します。

⑤次曲ボタン

このボタンをタップすると、リストの次の曲に変更します。

⑥音量

再生中の音量を調整します。スライダーを左右にスワイプし、お好みの音量に調整します。

設定編

目次

設定画面	46
設定画面の構成	47
ピアノ設定	48
ピアノタイプ	49
鍵盤	50
タッチ調整	51
各鍵音量調整	52
黒鍵音量調整	53
鍵盤検知範囲設定	54
鍵盤連打設定	55
ペダル	56
ペダル検出位置	57
ダンパーペダルモード	58
ソフトペダルエフェクトレベル	59
レゾナンス	60
ダンパーレゾナンス	61
ストリングレゾナンス	62
チューニング	63
調律カーブ	64

サウンドボックス設定	65
エコ設定	66
パネル LED 設定	67
オートパワーオフ設定	68
キャリブレーション	69
バックアップ・リストア	70
工場出荷設定	71
情報	72

設定画面

画面下部の設定タブをタップすると、設定画面を表示します。
設定画面の表示内容は以下の通りです。



①ピアメイト接続ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体との接続画面を表示します。また、このアイコンの色は、ピアメイト本体との接続状態で変化します(青色:接続中、白色:未接続)。

②更新ボタン

このボタンをタップすると、ピアメイト本体から最新の設定情報を取得します。

③ピアノ設定

このボタンをタップすると、ピアノ設定の画面を表示します。

④サウンドボックス設定

このボタンをタップすると、サウンドボックス設定の画面を表示します。

⑤情報

このボタンをタップすると、情報の画面を表示します。

設定画面の構成

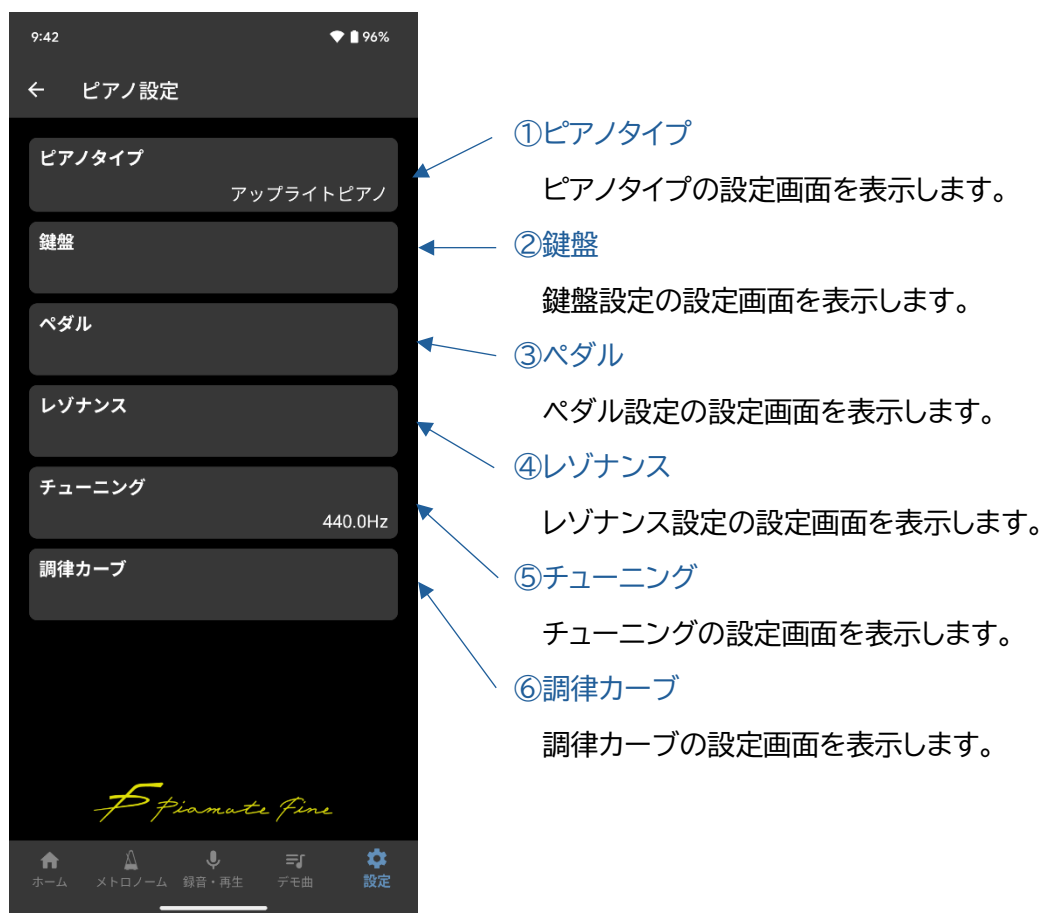
設定画面は次のような画面階層で構成されています。

レベル 1	レベル 2	レベル 3
ピアノ設定	ピアノタイプ	—
	鍵盤	タッチ調整 各鍵音量調整 黒鍵音量調整 鍵盤検知範囲設定 鍵盤連打設定
	ペダル	ペダル検出位置 ダンパーペダルモード ソフトペダルエフェクトレベル
	レゾナンス	ダンパーレゾナンス ストリングレゾナンス
	チューニング	—
	調律カーブ	—
サウンドボックス設定	エコ設定	パネル LED 設定 オートパワーオフ設定
	キャリブレーション	—
	バックアップ・リストア	—
	工場出荷設定	—
情報	—	—

ピアノ設定

設定画面からピアノ設定をタップすると、ピアノ設定の画面を表示します。

[ピアノ設定画面]



ピアノ関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。
戻るボタンをタップすると、設定のトップ画面に戻ります。

ピアノタイプ

ピアノ設定画面からピアノタイプをタップすると、ピアノタイプの画面を表示します。

[ピアノタイプ画面]



ピアમેイトを取り付けたピアノタイプを設定します。ピアમેイトを適切な状態にするため、この設定はピアノに合わせて下さい。

鍵盤

ピアノ設定画面から鍵盤をタップすると、鍵盤設定の画面を表示します。

[鍵盤設定画面]



鍵盤関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。
戻るボタンをタップすると、ピアノ設定画面に戻ります。

タッチ調整

鍵盤画面からタッチ調整をタップすると、タッチ調整の画面を表示します。

[タッチ調整画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

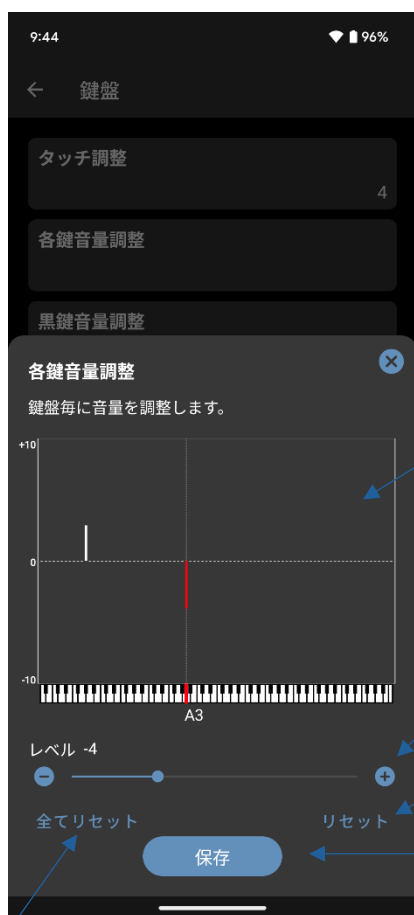
設定を保存終了します。

ピアノのタッチ感を調整します。ピアノによって、鍵盤の動きが遅い(重い)場合や、速い(軽い)場合があるため、タッチ感に合わせた調整を行います。遅い(重い)場合、マイナス方向に、速い(軽い)場合、プラス方向に調整します。

各鍵音量調整

鍵盤画面から各鍵音量調整をタップすると、各鍵音量調整の画面を表示します。

[各鍵音量調整画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②鍵盤選択

グラフ内を左右にスワイプし、鍵盤を選択します。
赤色が選択中の鍵盤です。
タップすると、1 鍵盤分だけ移動します。

③調整ボタン

設定値を調整します。

④リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

⑤保存ボタン

設定を保存終了します。

⑥全てリセットボタン

全ての鍵盤の設定をリセットします。

鍵盤毎に音量を調整します。特定の鍵盤の音量が他の鍵盤に比べて大きい、または小さいと感じる場合、その鍵盤の音量を調整します。

黒鍵音量調整

鍵盤画面から黒鍵音量調整をタップすると、黒鍵音量調整の画面を表示します。

[黒鍵音量調整画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

設定を保存終了します。

黒鍵と白鍵の音量のバランスを調整します。黒鍵と白鍵で音量のバランスがおかしいと感じる場合、調整して下さい。

鍵盤検知範囲設定

鍵盤画面から鍵盤検知範囲設定をタップすると、鍵盤検知範囲設定の画面を表示します。

[鍵盤検知範囲設定画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

設定を保存終了します。

鍵盤を打鍵した際、鍵盤がどの位置まで下がったときに、音を鳴らすか設定します。お好みに合わせて調整して下さい。

鍵盤連打設定

鍵盤画面から鍵盤連打設定をタップすると、鍵盤連打設定の画面を表示します。

〔鍵盤連打設定画面〕



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

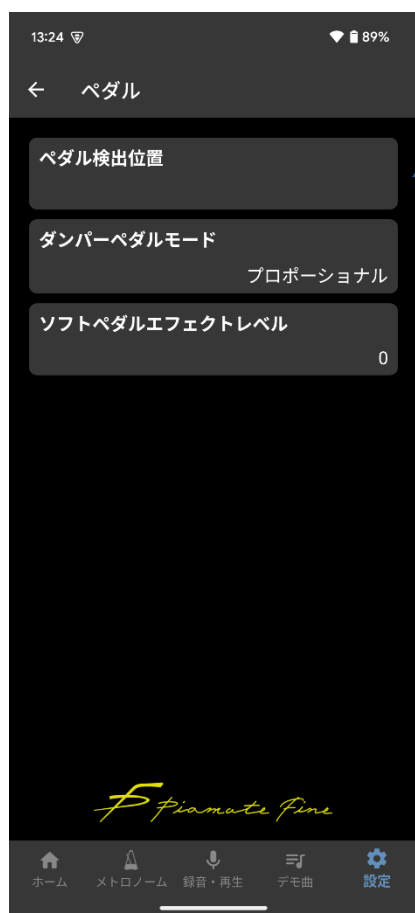
設定を保存終了します。

1秒間に鍵盤を連打可能な回数を設定します。ピアメイトでは、鍵盤センサーの仕組み上、アップライトピアノ本来の性能以上の連打回数に設定することもできますが、お好みに合わせて調整して下さい。

ペダル

ピアノ設定画面からペダルをタップすると、ペダル設定の画面を表示します。

[ペダル設定画面]



①ペダル検出位置

ペダル検出位置の設定画面を表示します。

②ダンパーペダルモード

ダンパーペダルモードの設定画面を表示します。

③ソフトペダルエフェクトレベル

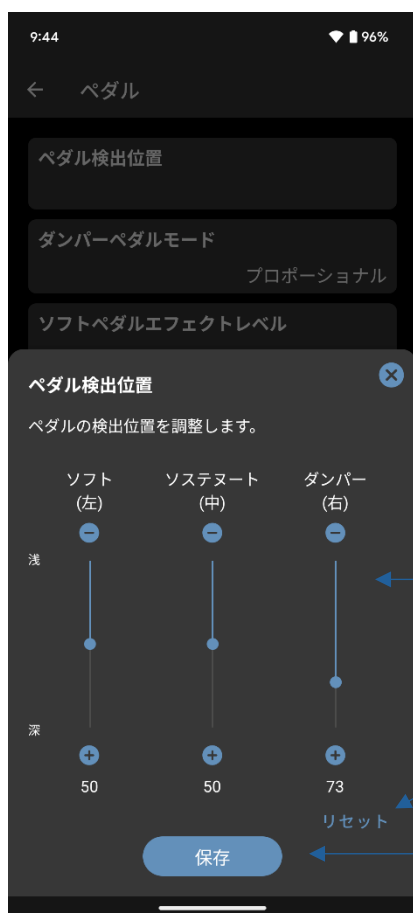
ソフトペダルエフェクトレベルの設定画面を表示します。

ペダル関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。
戻るボタンをタップすると、ピアノ設定画面に戻ります。

ペダル検出位置

ペダル画面からペダル検出位置をタップすると、ペダル検出位置の画面を表示します。

[ペダル検出位置画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

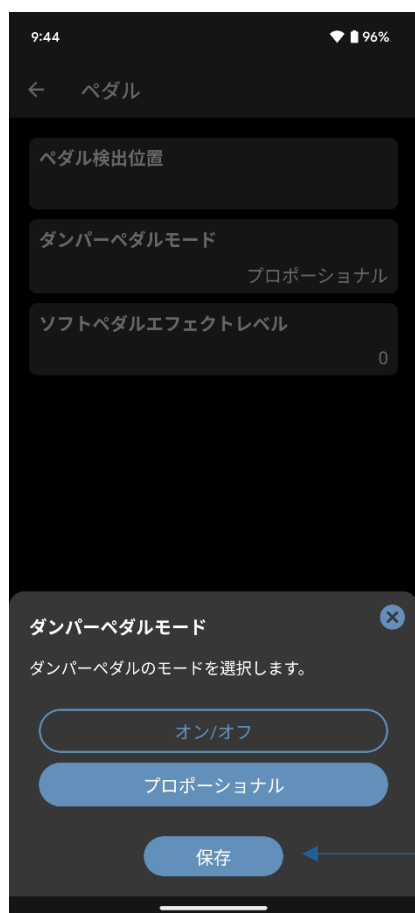
設定を保存終了します。

各ペダルを踏み込んだ際に、ペダルの効果が効く位置を調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

ダンパーペダルモード

ペダル画面からダンパーペダルモードをタップすると、ダンパーペダルモードの画面を表示します。

[ダンパーペダルモード画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②モード選択ボタン

ダンパーペダルのモードを選択します。

③保存ボタン

設定を保存終了します。

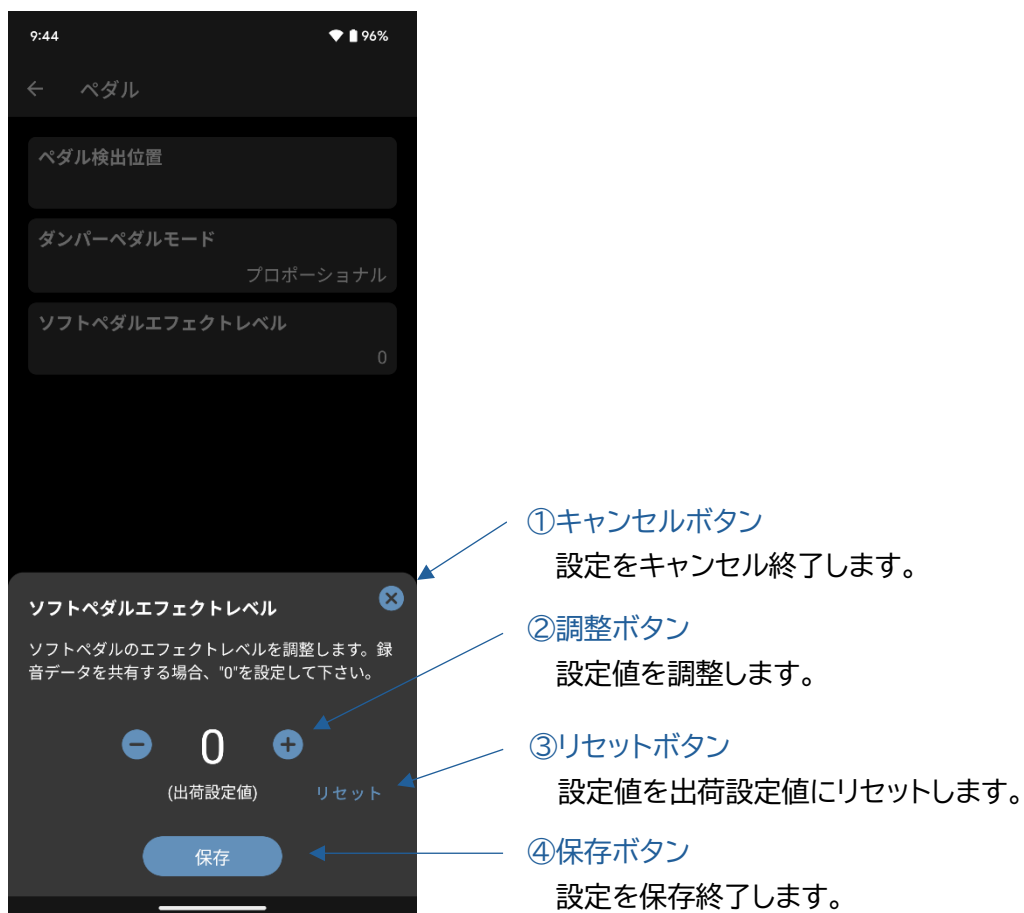
ダンパーペダルの動作モードを選択します。

オン/オフモードでは、ダンパーペダルの効果に強弱はありませんが、プロポーションナルモードでは、ペダルの踏み込み量に応じた強弱をコントロールすることができます。

ソフトペダルエフェクトレベル

ペダル画面からソフトペダルエフェクトレベルをタップすると、ソフトペダルエフェクトレベルの画面を表示します。

[ソフトペダルエフェクトレベル画面]

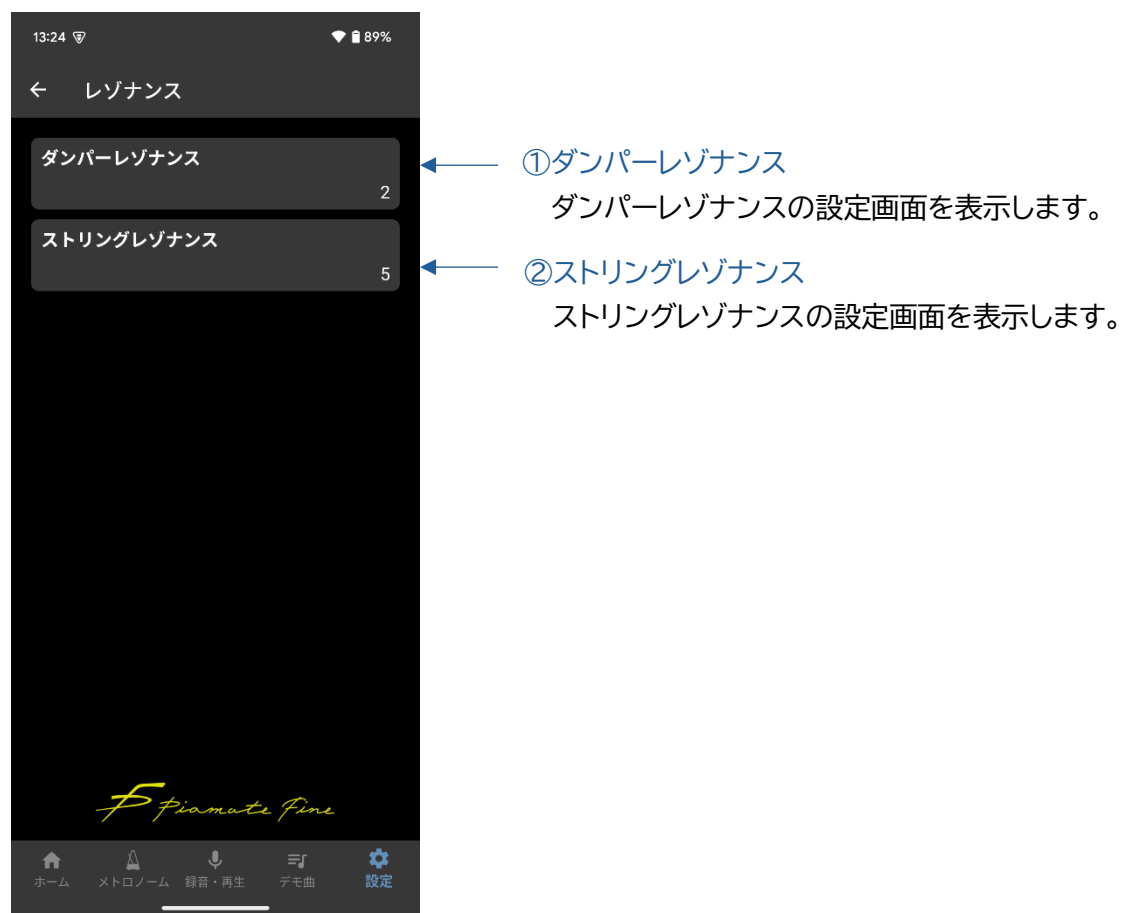


ソフトペダルの効果を調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

レゾナンス

ピアノ設定画面からレゾナンスをタップすると、レゾナンス設定の画面を表示します。

[レゾナンス設定画面]

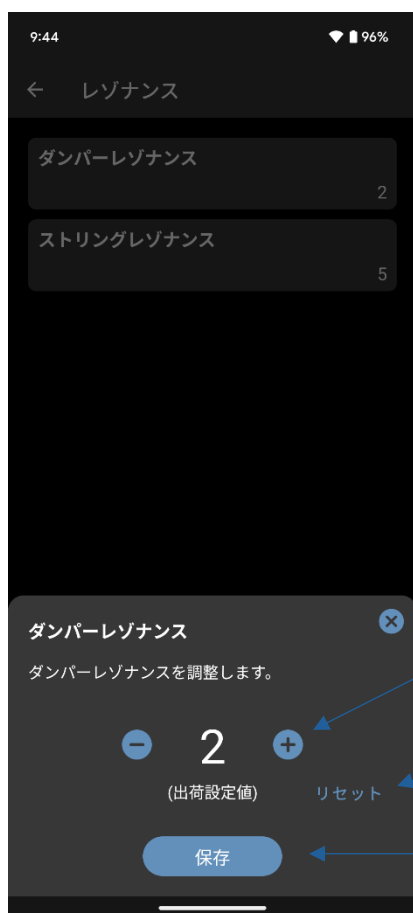


レゾナンス関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。
戻るボタンをタップすると、ピアノ設定画面に戻ります。

ダンパーレゾナンス

レゾナンス画面からダンパーレゾナンスをタップすると、ダンパーレゾナンスの画面を表示します。

[ダンパーレゾナンス設定画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

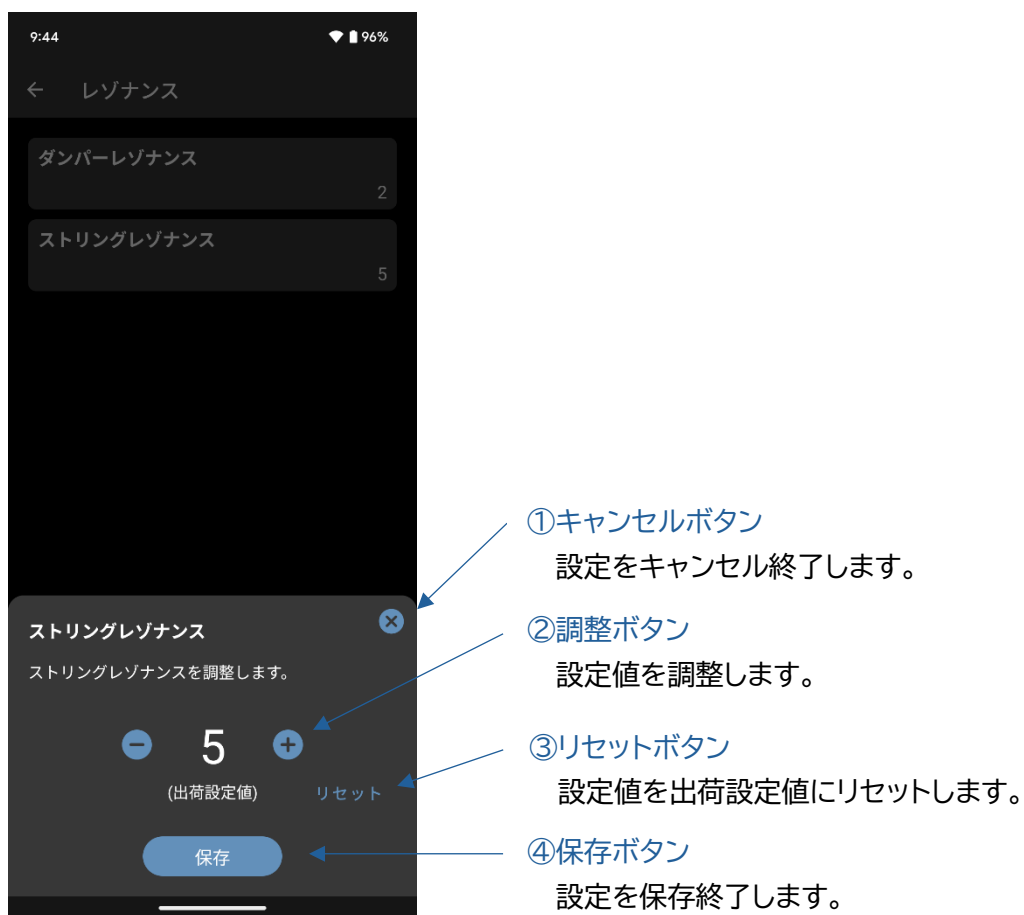
設定を保存終了します。

ダンパーレゾナンスの共鳴音を調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

ストリングレゾナンス

レゾナンス画面からストリングレゾナンスをタップすると、ストリングレゾナンスの画面を表示します。

[ストリングスレゾナンス設定画面]



ストリングレゾナンスの共鳴音を調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

チューニング

ピアノ設定画面からチューニングをタップすると、チューニングの画面を表示します。

[チューニング画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

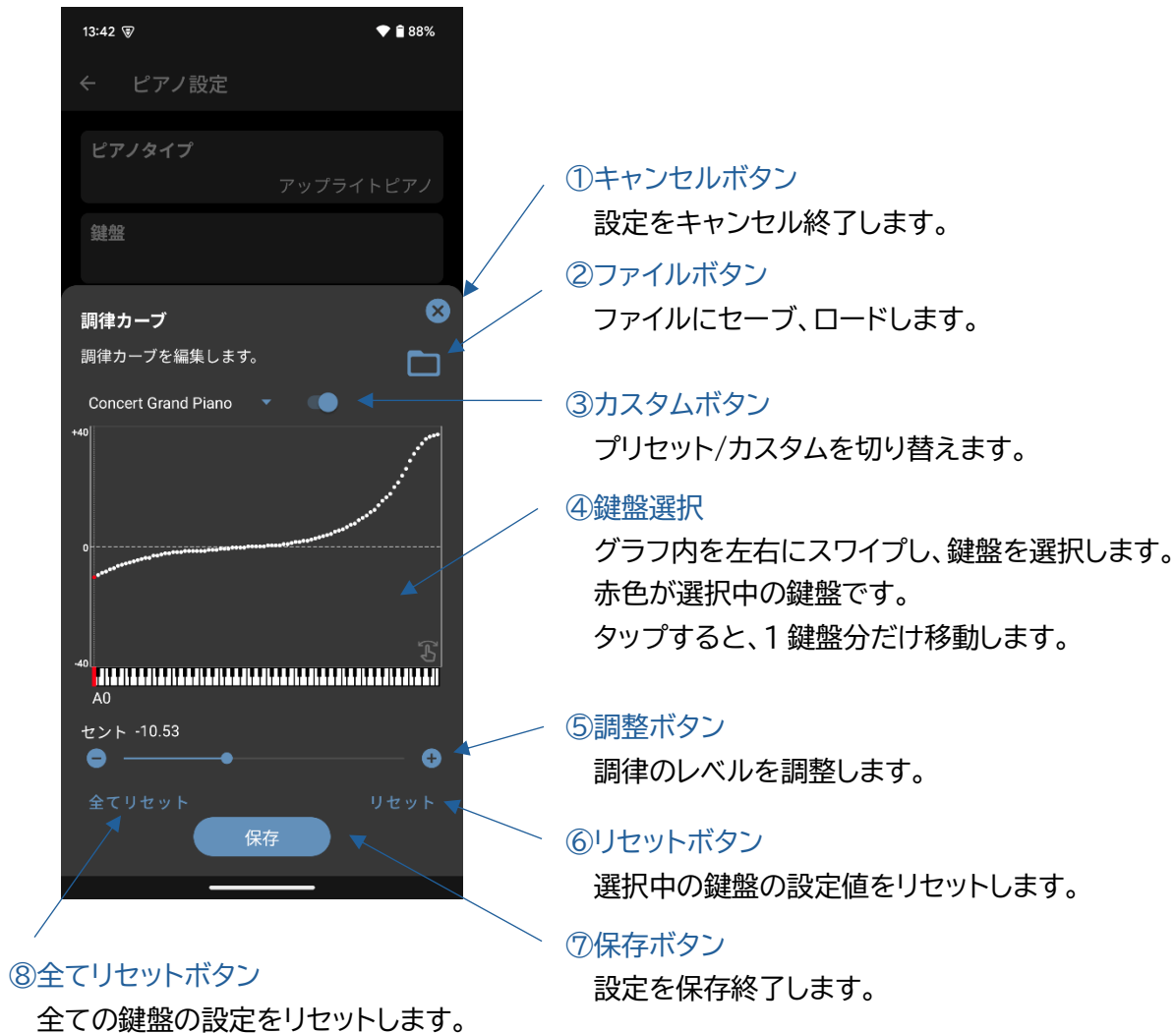
設定を保存終了します。

チューニングを調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

調律カーブ

ピアノ設定画面から調律カーブをタップすると、調律カーブの画面を表示します。

〔調律カーブ画面〕



ピアメイトには独自の調律カーブが設定されていますが、調律カーブを変更したい場合、カスタムボタンをオンに変更し、調律カーブを編集します(オンに切り替えた直後は、フラットな状態です)。また、編集した調律カーブのデータをAndroidデバイス上のファイルに保存し、保存したファイルをロードすることもできますので、複数の調律カーブを保存しておく、ロードするファイルを切り替えることで、調律カーブを簡単に切り替えることができます。なお、ファイルからロードした場合、ピアメイト本体にもロードされますが、ロードしただけでは本体には保存されていないので、保存したい場合、保存ボタンをタップして終了して下さい。

サウンドボックス設定

設定画面からサウンドボックス設定をタップすると、サウンドボックス設定の画面を表示します。

[サウンドボックス設定画面]



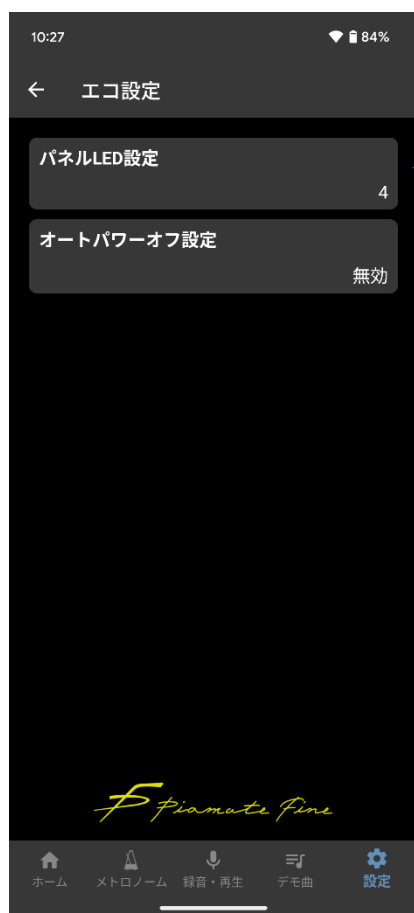
サウンドボックス関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。

戻るボタンをタップすると、設定のトップ画面に戻ります。

エコ設定

サウンドボックス設定画面からエコ設定をタップすると、エコ設定の画面を表示します。

[エコ設定画面]



①パネル LED 設定

パネル LED 設定の設定画面を表示します。

②オートパワーオフ設定

オートパワーオフ設定の設定画面を表示します。

エコ関連の設定項目を表示し、各項目をタップすると、それぞれの設定画面を表示します。
戻るボタンをタップすると、サウンドボックス設定画面に戻ります。

パネル LED 設定

エコ設定画面からパネル LED 設定をタップすると、パネル LED 設定の画面を表示します。

[パネル LED 設定画面]



①キャンセルボタン

設定をキャンセル終了します。

②調整ボタン

設定値を調整します。

③リセットボタン

設定値を出荷設定値にリセットします。

④保存ボタン

設定を保存終了します。

ピアメイト本体の操作パネルの LED の明るさを調整します。お好みに合わせて調整して下さい。

オートパワーオフ設定

エコ設定画面からオートパワーオフ設定をタップすると、オートパワーオフ設定の画面を表示します。

[オートパワーオフ設定画面]

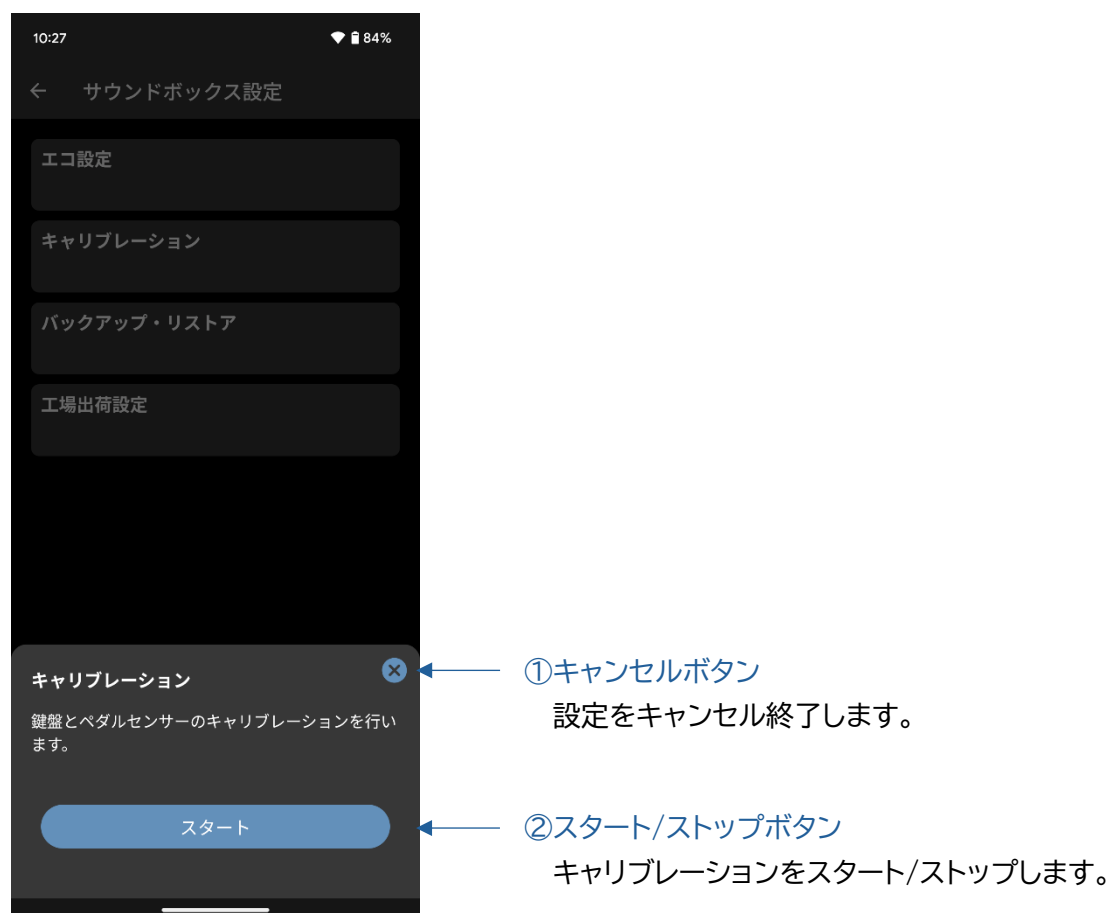


オートパワーオフの時間を設定します。無演奏の状態が設定時間を達すると、ピアメイト本体の電源を自動的にオフにします。無効に設定されている場合、自動的にオフにはしません。

キャリブレーション

サウンドボックス設定画面からキャリブレーションをタップすると、キャリブレーションの画面を表示します。

[キャリブレーション画面]



鍵盤センサーのキャリブレーションを行います。一部の鍵盤が鳴らなくなった、以前よりも鍵盤の反応がおかしくなったといった場合、キャリブレーションを行うことで解消される場合があります。スタートボタンをタップするとキャリブレーションが始まります。鍵盤の一番深い位置まで一定の強さ(フォルテ程度)で打鍵して下さい。スタートすると、スタートボタンの表示がストップボタンに変わりますので、ストップボタンをタップすると、キャリブレーションを終了します。

バックアップ・リストア

サウンドボックス設定画面からバックアップ・リストアをタップすると、バックアップ・リストアの画面を表示します。

[バックアップ・リストア画面]



バックアップボタンをタップすると、ピアメイト本体に保存されている各種設定や録音データを、Android デバイス上にバックアップします。また、リストアボタンをタップすると、バックアップしたデータを使って、ピアメイト本体の各種設定や録音データを元に戻します。

なお、バックアップ・リストアの際に録音データが含まれている場合、録音データの曲数やサイズによっては、バックアップ・リストアの時間が長くなる場合があります。

工場出荷設定

サウンドボックス設定画面から工場出荷設定をタップすると、工場出荷設定の画面を表示します。

[工場出荷設定画面]



①キャンセルボタン

工場出荷設定をキャンセル終了します。

②リセットボタン

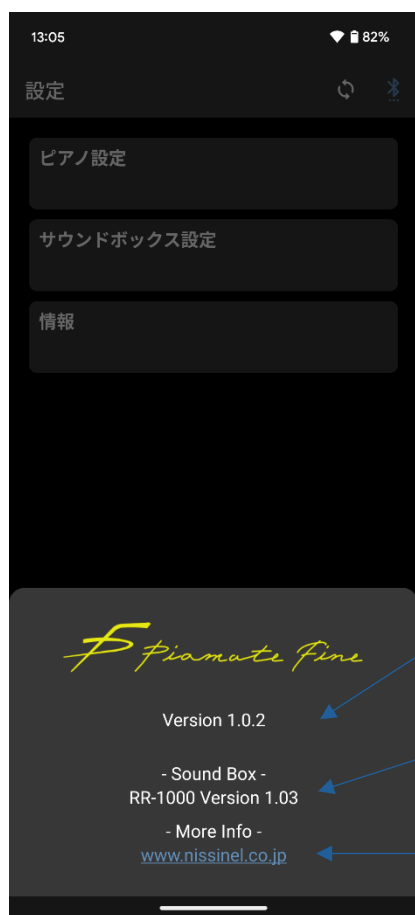
全ての設定をリセットします。

リセットボタンをタップすると、ピアメイト本体を工場出荷設定の状態にリセットします。リセットが完了すると、本体の電源が自動的にオフになりますので、再度本体の電源オンにし、初期設定を実施して下さい。なお、初期設定の方法については、本体の取扱説明書を参照して下さい。

情報

設定画面から情報をタップすると、情報の画面を表示します。

[情報画面]



①アプリのバージョン

アプリのバージョンを示します。

②ファームのバージョン

本体ファームウェアのバージョンを示します。

③ハイパーリンク

弊社ウェブサイトへのリンクです。

この画面でアプリやファームウェアのバージョンを確認することができます。また、ハイパーリンクをタップすると、ブラウザが起動し、弊社ウェブサイトを表示します。

情報画面の外をタップするか、情報画面を下にスワイプすると、設定の画面に戻ります。

商標および免責事項

Android は Google LLC の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載されている画面はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

本書の内容の一部または全部を無断で複製、改変、転載することはできません。

本ソフトウェアの使用によるデータの消失等につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2025 Nissin Electro Co., Ltd. All rights reserved.